

## 草の根技術協力（草の根パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 案件名	サービス受益者の行動選択に働きかける誰ひとり取り残さない母子継続ケア支援事業
3. 事業の背景と必要性	ラオスでは未だに高い妊産婦・乳幼児死亡率が報告されている。これまでの健康情報提供型の介入では、教育水準の低い農村部の母親の行動変容は不十分だった。そこで実施団体は、母子健康手帳を活用し、意思決定の場において「直感」に働きかける環境や選択肢を設計する手法を取り入れる。その結果、これまでの健康教育では届かなかった集団に対しても、望ましい健康行動を選択できるように誘導できる。
4. プロジェクト目標	対象地域に在住する母子の継続ケア（妊婦健診～定期予防接種）の達成割合が増加する
5. 対象地域	カムアン県サイブートン郡の65村（人口約32,000人）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	直接受益者：郡病院及び5つの保健センターの職員のうち、アウトリーチ活動に従事する約30人の医師/看護師/助産師等（以下、《アウトリーチ職員》） 間接受益者：妊産婦とその家族、生後2歳までの乳児およびその両親・養育者
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 県・郡保健局において行動インサイトを母子保健サービス（アウトリーチ）に取り入れる体制が整う 2. アウトリーチ職員が行動インサイトの手法を用いて、母子保健サービスを実施できる 3. 村落の母子保健サービス利用の支援体制に、行動インサイトが取り入れられる <活動> 1. C/P側に行動変容を導く手法を身につけた担当者を育成する 担当者が現地保健医療従事者を対象に行動変容を導く研修会を開催する 事業についてモニタリングおよび評価を実施し、成果を報告・共有する 2. アウトリーチ職員が研修会に参加し、行動変容を導く手法を学ぶ 既存のアウトリーチ活動の中に行動変容を導く手法を付加する 3. 現地保健医療従事者と村落保健委員会の協力体制を強化する 村落保健委員会が行動変容を導く情報発信や仕組みを整備する
8. 実施期間	（西暦）2026年4月～2029年4月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	85,076千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	カムアン県保健局およびサイブートン郡保健局（保健省）
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	特定非営利活動法人 I S A P H
2. 主な活動内容	1. 開発途上国における住民主体の地域保健活動 2. 災害などの被災地に対する緊急医療援助 3. 相互の知識と経験を活かした保健人材育成